

久留米市国土強靱化地域計画（案）に 対するパブリックコメントの結果について

令和3年8月27日（金）から令和3年9月27日（月）までの期間で、久留米市国土強靱化地域計画（案）についてパブリックコメントを実施し、市民の皆様からのご意見を募集していました。その結果及び意見に対する回答がまとまりましたので、ご報告いたします。貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

なお、意見の内容につきましては、原文を一部要約しています。

1 募集結果

38件（2名・1団体）

区 分	人数（団体数）	件 数
持参	0	0
郵送	0	0
電子申請	2	17
電子メール	1	21
FAX	0	0
合計	3	38

2 意見の内訳

○久留米市国土強靱化地域計画（案）への意見対応と件数

対 応 区 分	件 数
意見の趣旨に基づいて原案を修正するもの	4
意見の趣旨が原案に記載されているもの	2
意見に対して原案を修正しないもの	19
参考（他の計画で取り扱うもの、個別の取組への要望、提案など）	13
合計	38

3 意見の概要とそれに対する市の考え方

計画（案）に対するご意見の概要と市の考え方は、次頁以降のとおりです。

久留米市国土強靱化地域計画（案）に対する意見と対応

提出件数：38件（2人、1団体）

No.	計画(案)ページ	意見の概要	対応区分	対応の考え方
1	表紙	「久留米市国土強靱化地域計画」に副題を募集する。 (理由)「国土強靱化」という名称は非常にわかりにくい。内容を示し市民に分かりやすい名を募集してほしい。	原案に記載あり	表紙に、「国土強靱化」の意味を端的に示した副題を付けております。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
2	6	本計画の取り組みが達成に寄与する「持続可能な開発目標（SDGs）」の2と6の間にSDGs「5. ジェンダー平等を実現しよう」を追加する。 (理由)国土強靱化施策は、誰ひとり取り残さず、人々の安全安心を実現することを目標とするものであることから、SDGsを踏まえて策定されるものである。SDGs17目標の5はジェンダー平等の実現であるが、とくに昨今多発する重大な自然災害でジェンダー平等の視点が必須であることが避難訓練時や避難所設置等で指摘され、その対応も少しずつではあるが進んでいる。男女の対等・平等がないと地域強靱化を社会全体に推進できない。この計画にもジェンダー平等の追加が必須であると考えます。	原案を修正	ご意見のとおり、6ページ、本計画の取り組みが達成に寄与する「持続可能な開発目標」（SDGs）の2と6の間にSDGs「5. ジェンダー平等を実現しよう」を追加します。
3	6・7	停電、上下水道、ガス、電話、ネット、などの停止（自然的、人為的、事故）、感染症（自然、バイオテロ）、毒混入、コロナ、竜巻、疫病、火災、雹、大雪、停電、大雨、黄砂、テロ、台風、水源、警察、消防組織、病院、学校、役場、高速道路、ショッピングセンターなどを狙った放射能テロ、化学テロ、事故、道路網寸断などへの備えは。	参考	久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・施策等の指針を示すものと考えます。 いただいたご意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を推進していく中で、参考にさせていただきます。
4	7	「⑨ 災害状況や対応状況、現場写真等を部署ごとに記録をとる。」を追加する。 (理由)久留米市は毎年洪水が起きている。様々な記録は、必ずその後の災害対応に生きてくる。 *「〇平常時の有効活用を踏まえた対策」等他に挿入する適当な所があれば、そこに追加する。	原案どおり	これまでも、各担当部署において災害現場写真等の記録を行い対応しておりますが、あらためて、ご意見を各部署に共有させていただきます。
5	8	「〇 PDCAサイクル」の図を挿入する。 Plan（計画）リスクシナリオごとの脆弱性の分析・評価・リスクへの対応方策の検討 Do（実施）各種事業の計画的な実施 Check（評価）KPIの達成状況の確認と評価 Action（改善）評価を踏まえた各種事業の見直し及び改善進行計画の精査・検討 (理由)PDCAサイクルは図式化の方が理解しやすい。また、KPIは、PDCAサイクルのCに入る。	原案を修正	ご意見を踏まえ、8ページに、強靱化施策の推進に関する「〇 PDCAサイクル」のイメージ図を追加します。

No.	計画(案)ページ	意見の概要	対応区分	対応の考え方
6	8	○の3つめ 「自助」「共助」「公助」の順序を逆にし「公助」「共助」「自助」とすること。 (理由)このような「防災・減災」を担う取り組みは、公助が先でないとなりた たない内容が多く、その指導の下、自助がうまく機能する。	原案 どおり	国・福岡県の計画においても「自助」「共助」「公助」と記載されており、ま た、記載順によって内容が変わるものではないと考えております。
7	8	4つ目の○として、 ○他の機関との連携 「自衛隊や国土交通省テックフォース、気象台等の支援能力調査や訓練等を通 じて連携を築いておく。」を追加する。 (理由)危機への対処能力は限られているし、体系的・専門的な仕組みは整っ ているとは言えない。遠慮なく「助けてほしい」と言える関係を築いているこ とは重要である。	原案 どおり	久留米市では、自衛隊や消防・警察をはじめ、国や福岡県、民間業者を交えた 総合防災訓練を定期的実施し、連携を図っております。 また、近年の災害においては、自衛隊・消防・警察・国土交通省・福岡県など からのリエゾンが派遣されており、緊急時の支援の要請は円滑に行える体制に なっております。
8	16・17 78・79	災害時の物資輸送に備え、道路や橋梁など輸送ルートของ安全性、輸送手段の確 保に努める必要がある。	原案に 記載あり	79ページ、「脆弱性評価及び対応策シート 資料No.5-4-④ 1」に記載のとおり 、緊急輸送路道路をはじめ、防災上重要な道路については、緊急車両等がス ムーズに通行でき、緊急活動等の妨げにならないよう、電線管理者と協議の 上、無電柱化を図ります。特に、内環状道路のうち国道3号から国道209号 間の無電柱化を推進します。
9	22・23	公共施設のガラス、特に高所からの落下飛散防止シート、図書館などの書棚な どの転倒防止などへの取り組みなど災害減免対策が東日本大震災や熊本地震で も割れたガラスの落下飛散事故が起きたので気になる。 割れたガラスは空気抵抗のため必ず鋭くとがった面を下にして落ちてくる。	参考	久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・ 施策等の指針を示すものと考えます。 いただいたご意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を 推進していく中で、参考にさせていただきます。
10	23	「学校施設の耐震化・老朽化対策」の評価指標 学校施設の耐震化の現状値・目標値を示す。 (理由)児童生徒が一日の大半を過ごす施設の安全は最優先してほしい。	原案 どおり	耐震化率100%を既に達成していることから、学校施設の耐震化の評価指標に ついては記載しておりません。
11	26	「大規模盛土造成地の把握」の対応策の5行目、「・・・予防策を促進す る。」に「・・・促進し、住宅建設業者や不動産業者に情報を徹底する」下線 部分を挿入する。 (理由)危険性があいまいなまま造成・建築・販売してはならないと思う。	原案 どおり	「大規模盛土造成地の把握」の対応策の3行目、「情報提供を行い」の中に、 住宅建設業者や不動産業者への情報提供も含めております。ご意見を踏まえ、 引き続き、マップの公表や住宅建設業者や不動産業者への情報提供に努めま す。

No.	計画(案)ページ	意見の概要	対応区分	対応の考え方
1 2	29・30	「避難場所となる公園の整備、老朽化対策」 住民の意見が反映できるような会議などをする。 (理由) ここは住民の意見を反映した方が、自助がすみやすい。	原案 どおり	近年の公園整備においては、近隣住民の方々の意見を反映すべく、ワーク ショップや地元説明会などを行いながら、整備を進めております。今後も、住 民の方々の意見を反映できる機会を設けながら、公園整備を行います。
1 3	33	「指定避難所の指定・運営」の対応策の4行目、「・・・また、感染症など に対応した避難所の運営に努める。」に「・・・努めるとともに、感染症の自 宅療養者の避難対策を進める」下線部分を挿入する。 (理由) コロナ感染症の自宅待機者については特別な対処が必要である。	原案を 修正	ご意見を踏まえ、33ページの、「・・・また、感染症などに対応した避難所 の運営に努める。」を、「・・・また、感染症などの状況に対応した避難の支 援や避難所の運営に努める。」に修正します。
1 4	35	「水門などの効果的な管理」の重点施策 重点施策とすること。 (理由) ここ3～4年来の久留米の豪雨被害の原因は内水氾濫であり、R7年 100%の目標までの期間も危険がある。早急な対策がほしい。	原案 どおり	当面は、現施設における確実な運用に努めることとしております。自動化など に取り組む際には、国の財源確保も必要と考えられることから、適宜見直しを 検討します。
1 5	36	「甚大な水害が発生した地域等において集中的に実施する災害対策」の評価指 標 大刀洗川・陣屋川流域対策の「現状値」「目標値」を決定する。 (理由) 他の河川と同様に毎年浸水被害がでている。	原案 どおり	「大刀洗川・陣屋川流域における浸水対策」については、内水対策(案)の策 定を進めている状況のため、策定後、評価指標を定めます。
1 6	41	「避難体制の強化、開発行為の対応、洪水及び内水ハザードマップの作成」の 「防災情報を活用した対策」の「対応策」の5行目、「・・・提供すること で、」のあとに「・・・提供し、毎年ハザードマップを見直すことで・・・」 を挿入する。 (理由) このように毎年豪雨災害がおこれば狭い区域でも危険区域が変わって きている。	原案 どおり	ハザードマップは河川管理者である国や福岡県、土砂災害の危険区域を設定し ている福岡県が発表した危険区域に、久留米市が避難所などの情報を追加して 市民に公開しているものであり、基本的に内容が毎年変わるものではないた め、更新は内容が変わったタイミングの時だけとなります。 ただし、現在、河川課が公開している道路冠水マップは浸水被害の実績を示し たマップとなっているため、毎年聞き取り等を踏まえ更新しております。
1 7	41ほか	「地域防災力の向上」「防災訓練の実施」とか、P41ほかに「災害情報の収 集・伝達体制の確保」とかいう言葉が頻繁に出てくるが、高齢化に伴い自主防 災組織を結成し、組織を維持していくのも困難な自治会がある。	参考	久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・ 施策等の指針を示すものと考えます。 いただいたご意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を 推進していく中で、参考にさせていただきます。
1 8	46	「外国人に対する支援」の対応策の5行目、「・・・に努める」の後に「又、 日本語習得のための教育の場を設ける」を追加挿入する。 (理由) 久留米市に在住する外国人は6千人ほどに達すると聞いているが、ガ イドブックを読むだけでなく、街中での看板・施設名などの日本語を読めるよ うになることが必要である。	参考	久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・ 施策等の指針を示すものと考えます。 いただいたご意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を 推進していく中で、参考にさせていただきます。

No.	計画(案)ページ	意見の概要	対応区分	対応の考え方
19	47	<p>連休中、深夜など役所が休みの時の災避難用具入れ。ジャッキ、ウインチなど救出用具はどう用意するのか。 東京葛飾区の堀切の防災器具の事例だと次のようなものがあるが、個人で備えるは災害時などでは余裕がなく困る。 地域の備蓄倉庫もしくは機材によってはさらに広域の備蓄倉庫などに用意できないか。</p> <p>「備蓄用品参考例」 ウインチ、ウェットティッシュ、うがい薬、エンジンカッター、カッター、カナピラ、ガムテープ、ゴミ袋、ジャッキ、スケッチブック、スコップ、スパナ、チェーンソー、ティッシュペーパー、テント、ドライバー、ドラムコードや延長コード類、トランシバー、ノコギリ、バール、バケツ、ハサミ、バンドナ・小風呂敷、ハンマー、ひざ掛け、ビニール（絶縁）テープ、ビニールシート、ブルーシート、ヘルメット、ペンチ、ホイスル、ボール紙、マジック、マスク、無線機、メガホン、メモ、リヤカー、ロープ、ワイヤーカッター、一般工具、雨具、塩タブレット、塩飴、解熱鎮痛剤、懐中電灯、外傷用消毒材、簡易酸素ボンベ、簡易担架作成資材、軍手、血圧計、古ストッキング、抗生剤、削岩機、子供用のアナログ遊具、自家発電照明設備、湿布薬、消火・救助用、消火ポンプ、消火器、消火用簡易水槽、新聞紙、生理食塩水、生理用品、送水ポンプ、足場用パイプ、体温計、台車、大型ハンマー、大量のサラシ、担架、定規、梯子、電気コード、投光器、発電機、筆記用具、風邪薬、包帯、防塵マスク、防塵メガネ、毛布、目薬、誘導灯、両面テープ、輪ゴム、絆創膏</p>	参考	<p>久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・施策等の指針を示すものと考えます。 いただいたご意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を推進していく中で、参考にさせていただきます。</p>
20	47	<p>「公助による備蓄・調達の推進」の対応策の4行目、「・・・る。」に「とともに、コロナ禍の自宅療養者等の買い物に行けない人に備蓄品を届ける取り組みを行う。」を追加挿入する。</p> <p>(理由)実際にコロナ患者の自宅療養者で豪雨被災した方に食物が届いていなかった例がある。豪雨災害で自宅避難者など買い物に行けないのではないか。</p>	参考	<p>新型コロナウイルス感染症により自宅療養をされている方への食料供給については、通常時より配食サービスを行っており、災害時も同様に提供できる体制を整えるよう努めております。 いただいたご意見については、具体的な事業の検討の際に参考とさせていただきます。</p>
21	47・48	<p>津島市の国土強靱化地域計画で記載のある、「女性、高齢者、子ども、障がい者、アレルギー疾患のある人、外国人市民等に十分配慮して施策を講じる。」、「アレルギー疾患等に配慮し、市全体の備蓄を図る。」がなく気になる。</p>	参考	<p>久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・施策等の指針を示すものと考えます。 いただいたご意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を推進していく中で、参考にさせていただきます。</p>
22	52	<p>妊婦の対応が書かれていないが。災害時や避難時の破水、出産などの対応も想定しているのか。</p>	原案どおり	<p>久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・施策等の指針を示すものと考えます。 妊婦を含めた要配慮者への支援については地域防災計画の中で掲載させていただいています。</p>

No.	計画(案)ページ	意見の概要	対応区分	対応の考え方
23	52	性マイノリティ、ホームレスの対応なども想定しているのか。	原案 どおり	避難所には多様な方の避難が想定され、セクシュアル・マイノリティやホームレスの方をはじめ、女性、高齢者、子ども、障害のある人、外国人等の実情を踏まえた、きめ細やかな配慮が必要だと考えております。 一例として、久留米市では男女共同参画の視点での避難所運営の取組を進めております。避難所で発生する様々なニーズに、人権尊重の観点を持ってしっかりと対応できるよう、今後とも支援団体等と意見交換を行い、可能な準備を検討してまいります。 なお、ホームレスの方など住民票が無い場合も、避難所への避難が必要な方については、適切に受入れています。
24	52	旅行者、市外民、帰宅困難者などの問題（考えないとヨソモノ排除になりかねない。久留米で被災したのでも問題ないはずだが、何で避難所によその人がいるのと言った偏見が起きかねない）	原案 どおり	指定避難所については、避難の利便性を高めるために各校区に1箇所以上を開設することとしておりますが、校区外の避難者も受け入れを行っております。現に、過去の災害においても、校区外や市外の避難者を受け入れているケースも多々あります。 また、帰宅困難者の発生が想定される場合は、専用の避難場所を開設しております。
25	58	「防災拠点となる公共施設の整備」対応策の3行目、「図る。」の後に「また、建築費補助金のPRに努める」を追加挿入する。 (理由)「自治会集会所」なども近年は避難所として使われるようになってきたが、バリアフリーになっていない。この補助金を使うことが適切ではないだろうか。	原案 どおり	本事業は、久留米市校区まちづくり連絡協議会を通じて各校区・自治会に対して事業の活用について周知を行っております。 これまでも、まちづくり活動の拠点である校区コミュニティセンターや自治会集会所のバリアフリー化にも活用いただいております。 今後も誰もが使いやすい施設となるよう、技術的なアドバイスも含めて支援を進めます。
26	89	「農業水利機能を失ったため池の防災・減災対策」の脆弱性評価の【防災調節池の防災対策】4行目の「る。」に「長い歴史の中で持ち主がわからなくなった地元のため池などの対策を行う」を追加挿入。 (理由)ため池の歴史は古く、すでに持ち主がわからなくなったものも多いのではないかと考える。対策がたてづらいつと考える。	原案 どおり	所在者不明のため池対策については、その必要性も含めて、現在、福岡県と協議を行っているところです。 今後、協議の結果に基づき、福岡県若しくは久留米市により必要な対策を講ずることとしております。久留米市としては、引き続き所有者の調査を行います。
27	91	「建築物のアスベスト使用実態の把握」対応策の5行目、「努める」の後に「とともに久留米市に住むアスベスト被害者の実態を把握する」を追加挿入する。 (理由)過去の建物のアスベスト被害者の治療実態や日常生活の困難さなどを調査する必要がある。	原案 どおり	本計画におけるアスベスト使用実態の把握は、災害発生時の被害を未然に防止するため、アスベストを使用した建築物の所有者等に対し、必要に応じて改修等の啓発に努めるものであることから、過去のアスベスト被害者の実態把握は本計画で対応すべきものではないと考えます。

No.	計画(案)ページ	意見の概要	対応区分	対応の考え方
28	96	「地域コミュニティの活性化」 担当部局に「健康福祉部 地域福祉課」を追加すること。 (理由)地域福祉課は、「くろめ支え合うプラン」作成など、社会福祉協議会と連携し地域福祉を実際に担っている部署である。	原案 どおり	地域コミュニティの活性化に関する施策については、地域コミュニティ課が直接の担当部局であるため、地域福祉課は設定しておりません。一方、地域福祉課は、福祉的観点から地域全体の生活課題解決に向けた取組みを担っているなど、関係部局との連携は重要であると認識しております。
29	—	防災意識が高い人にノウハウ技術を高めて地域リーダー育成。 「防災講習会や研修会」としてやっていただきたい例 ・消防署の出前講座で消火器の使い方や救急処置の仕方 (心肺蘇生、応急手当、三角巾・パンティストッキングを使った固定、骨折した時の添え木になるものの代用例)、毛布による担架の作り方などの訓練。 ・サバイバル講座(ペットボトルを使ったり過、オイル漬け缶を使った明りの取り方、など) ・災害備蓄用品(特に食料品)を美味しく、有効的にローテーションさせるメニューの紹介や食事会 ・使いながら家庭内備蓄する品々の紹介(パンフレットによる啓蒙?) ・平時から防災について考えられるオープンハウスの開催	参考	久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・施策等の指針を示すものと考えます。 いただいた御意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を推進していく中で、参考にさせていただきます。
30	—	防災意識が低い人の問題をどうするのか。	参考	久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・施策等の指針を示すものと考えます。 いただいたご意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を推進していく中で、参考にさせていただきます。
31	—	他の市町村では用語集がついている。 用語集をつけてはどうか。	原案を 修正	「インフラ」「リスクシナリオ」「KPI」などの専門用語について、本文に注釈を追加します。
32	—	防災備蓄用品として、高齢者の特に女性向け「ナプキン型尿もれケアパッド」を用意していただくと助かります。 私の場合、旅行には自分で持っていきますが、旅先で被災した場合など、どうやって入手したらいいか困ります。	参考	備蓄品については、ニーズや商品が変化していくと考えております。 そのため、避難者のニーズ等を聞きながら、備蓄物資の検証を定期的に行っていく必要があると考えております。
33	—	情報伝達については記載がある。しかし、その前の情報収集をどうするのかの記載がみられない。気象庁や情報通信、放送ネットワーク等からのより早くより正確に情報収集する体制づくりである。 また、久留米市は、「防災チャットボット」を開発し、登録者を市職員限定で試験運用、来年度から市民を巻き込んだ運用開始するという久留米市独自の事業は特記すべきである。	参考	近年の災害において、情報の管理は大きな課題となっており、久留米市でも様々な対応を検討しております。 情報の収集においては、チャットボットだけではなく、防災科学技術研究所やNTT西日本との事業連携や国土交通省のワンコインセンサーの設置による情報収集の実証実験など、様々な動きが始まっております。 いただいたご意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を推進していく中で、参考にさせていただきます。

No.	計画(案)ページ	意見の概要	対応区分	対応の考え方
34	—	久留米市の「防災・減災」推進組織をきちんと明示してほしい。また、ここに記述されている個々の計画に対してはそれぞれ審議会等市民の意見を述べる機会があるが「久留米市国土強靱化地域計画」については審議会などが用意されていない。	原案 どおり	久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・施策等の指針を示すものと考えます。 本市の防災・減災の取り組みについては、各部局が「第4章4（別紙2）脆弱性評価及び対応策シート」に掲げる対応策などそれぞれの分野で取組を行っております。 本計画では、総合政策部が窓口となり、年度末の状況を年度当初に確認し、進捗管理を行ってまいります。 また、審議会については、本計画が、各部局が多様な意見を踏まえて整理した施策をとりまとめたものであることから、現時点において審議会の設置は予定しておりません。
35	—	中野区の国土強靱化地域計画で記載のある「（性犯罪や生理用品、体力、トイレ数など）ジェンダー差や要配慮者への対応を考慮した、避難所運営マニュアルの整備・改定に取り組む必要がある。」がなく気になる。	参考	久留米市国土強靱化地域計画は、本市の国土強靱化に係る様々な分野の計画・施策等の指針を示すものと考えます。 いただいたご意見については、国土強靱化に関する各種分野の計画・施策等を推進していく中で、参考にさせていただきます。
36	—	病院が罹災し機材、電気器具、薬品、手術器具などが使えないときはどうするか。	原案 どおり	医療機関の罹災時については、福岡県が指定する災害拠点病院が久留米市内に2施設あり、災害に備えた施設整備を行っております。 また、災害派遣医療チームの人材等の派遣要請や薬剤師会との災害時協定による薬剤を確保する体制を整えているところです。
37	—	東日本大震災や西日本豪雨、台風19号、熊本水害、常総市水害など、瓦礫の除去、浸水した家財の片付けや泥かきなどで破傷風などの感染症にもなりやすい。 また、ハエや蚊、蛾、ゴキブリも発生しやすい。 避難所だけでなく、復興作業中の衛生管理や感染症対策も行ってほしい。	参考	被災地における疫病や感染症への対策については、「清掃作業時の注意」に関する周知・啓発に努めているところです。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
38	—	連休中、深夜など役所が休みの時の災害想定はどうなっているのか。 熊本地震は深夜に発生している。 指定避難所について、地震被害がないか確認できない場合だと夜間等では対応できないかもしれない。	原案 どおり	避難所の開設にあたっては、災害種別ごとに開設基準を設けるとともに、避難所ごとの従事者を事前に選定し、夜間に地震が発生しても、開設基準の応じて職員が自動で避難所に参集し、開設する体制を構築しております。 また、大規模地震の場合は、施設の被害を確認した上で避難者の受入れを行うこととなっているため、夜間であっても事前に配備している懐中電灯等により点検を行うこととしております。